

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	長与町 423076
地域名 (地域内農業集落名)	佐敷川内 (佐敷川内集落)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	10.52 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	10.52 ha
② 田の面積	0.17 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	10.35 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における65才以上の農業者の農地面積の合計	6.9 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

(備考)

傾斜地が多く、みかんを中心とした果樹栽培を行っている。

(2) 地域農業の現状及び課題

- 急傾斜地で整備困難な農地が多く大型機械が入らない場所もあるため、生産効率を上げることが困難。
- 耕作放棄地の増加に伴い、有害鳥獣被害や害虫被害が増加している。
- 資材の高騰に対しみかんは低価格であるため、収益性が下がっている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- 積極的に新規就農者や担い手へ集積をおこない、優良農地の遊休化を未然に防ぐ。
- 担い手確保のため、定年退職者の就農を推進していく。また、集落営農の可能性について検討する。
- 有害鳥獣対策として、侵入防止柵の集落点検や草刈り、放任果樹の防止等に取り組む。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

担い手を中心に、農地バンクを積極的に活用し、経営農地の集積・集約化を進める。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	43 %	将来の目標とする集積率	82 %
--------	------	-------------	------

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

所有者や耕作者の意向を把握したうえで、農地バンク等を通じた農地の集約化を進める。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組

担い手を中心に集積・集約化を進め、団地面積の拡大を農地利用最適化推進委員や農業委員と調整し、中間管理機構を通じて進める。

(2) 農地中間管理機構の活用方法

所有者に貸し付けの意向のある農地は、農地バンクを活用して、担い手や担う者へ積極的に集積を行う。その際、農地利用最適化推進委員や農業委員と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。

(3) 基盤整備事業への取組

農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため、利用条件の悪い圃場などを中心に小規模な基盤整備や園内道の整備を進め、作業効率の向上及び省力化を図る。

(4) 多様な経営体の確保・育成の取組

地域内外から、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、県やJAと連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。

(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

作業の効率化が期待できる防除作業は、JAのドローン防除の委託等を行うなど、状況に応じて取り組みを検討していく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畠地化・輸出等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

〔選択した上記の取組内容〕

①侵入防止柵の集落点検やイノシシの隠れ場所をなくすための草刈り、放置果樹の防止等に取り組む。

③果樹のマルチドリップやドローン防除等、スマート農業技術を積極的に導入し、機械化による省力化を図っていく。

⑤基幹作物であるみかんの優良品種への改植や透湿性被覆資材の活用によりブランド率を高め、高付加価値化を図る。また、温暖化に対応した品種の導入についても検討する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

別添のとおり

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
		該当なし	

該当なし

6 目標地図(別添のとおり)

- 7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等數(人)

六七計画同音者数(人・%)

者の数を記載してください。

注1:「農用地所有者等」欄

注2:「うち計画同意者数」欄

注3: 提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面 積	経営作目等	経営面積	作業受託面 積	目標地図上の 表示	備考
1	A		1.188 ha	ha		1.188 ha	ha		
2	B		0.112 ha	ha		0.112 ha	ha		
3	C		0.696 ha	ha		0.696 ha	ha		
4	D		0.341 ha	ha		0.341 ha	ha		
5	E		0.047 ha	ha		0.047 ha	ha		
6	F		0.017 ha	ha		0.017 ha	ha		
7	認農	G	2.076 ha	ha		2.076 ha	ha		
8		H	0.119 ha	ha		0.119 ha	ha		
9		I	0.565 ha	ha		0.565 ha	ha		
10		J	0.637 ha	ha		0.637 ha	ha		
11		K	0.323 ha	ha		0.323 ha	ha		
12	認農	L	2.421 ha	ha		2.421 ha	ha		
13		M	0.633 ha	ha		0.633 ha	ha		
14		N	0.299 ha	ha		0.299 ha	ha		
15		O	0.663 ha	ha		0.663 ha	ha		
16		P	0.382 ha	ha		0.382 ha	ha		
17			ha	ha		ha	ha		
18			ha	ha		ha	ha		
19			ha	ha		ha	ha		
20			ha	ha		ha	ha		
21			ha	ha		ha	ha		
22			ha	ha		ha	ha		
23			ha	ha		ha	ha		
24			ha	ha		ha	ha		
25			ha	ha		ha	ha		
26			ha	ha		ha	ha		
27			ha	ha		ha	ha		
28			ha	ha		ha	ha		
29			ha	ha		ha	ha		
30			ha	ha		ha	ha		
31			ha	ha		ha	ha		
32			ha	ha		ha	ha		
33			ha	ha		ha	ha		
34			ha	ha		ha	ha		
35			ha	ha		ha	ha		
36			ha	ha		ha	ha		
37			ha	ha		ha	ha		
38			ha	ha		ha	ha		
39			ha	ha		ha	ha		
40			ha	ha		ha	ha		
41			ha	ha		ha	ha		
42			ha	ha		ha	ha		
43			ha	ha		ha	ha		
44			ha	ha		ha	ha		
45			ha	ha		ha	ha		
46			ha	ha		ha	ha		
47			ha	ha		ha	ha		